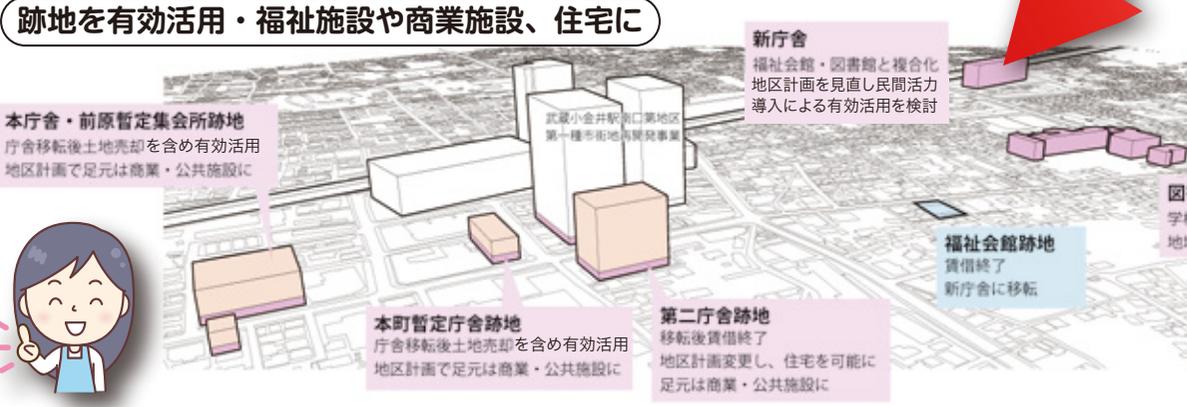
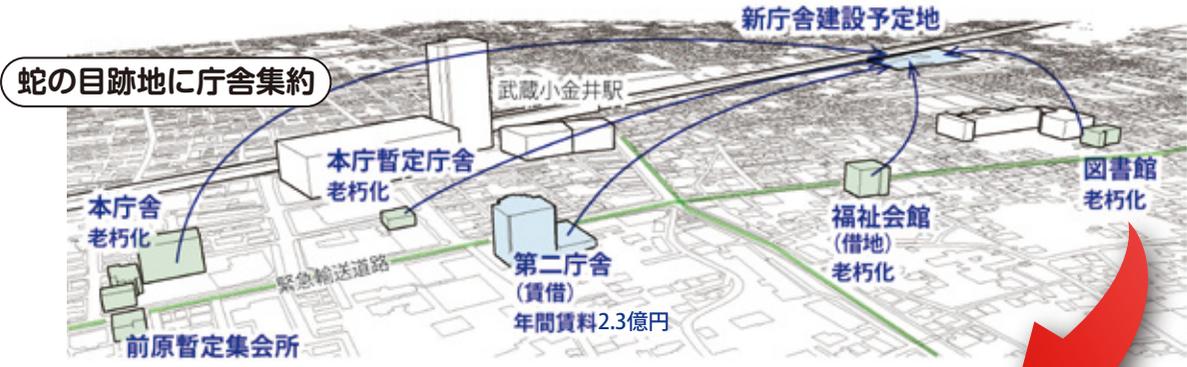
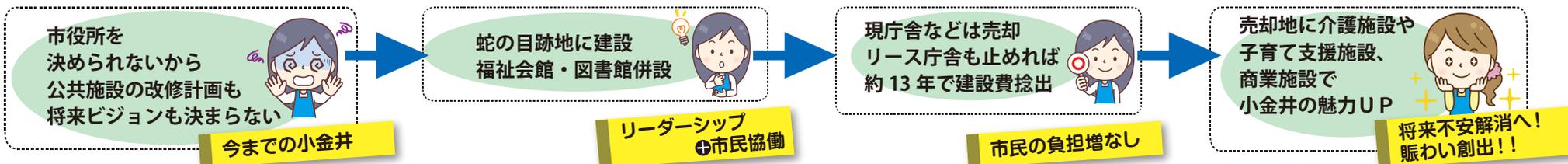


# 市役所問題を決着する。西岡真一郎

ごみ、駅前再開発に続く残された大問題が市役所 **先送り・その場しのぎ** **先取り・未来づくりへ**

介護や子育てなど市民サービス拡充ができないのは、公共施設の建替え・改修費用がかかるから。  
ならば、6施設を新市役所に集約して改修費&維持管理費削減、新たな市民サービスの財源へ。さらに市役所を耐震化。



介護施設が足りない  
子育て支援施設も足りない  
まちづくりが進まない  
財政難に増え続ける不安...

市役所問題解決で  
未来がみえてくる

証紙  
ご協力ありがとうございます  
ございます



市議2期8年  
都議2期8年  
小金井育ち

実績と行動力  
の市長候補

市役所問題解決なくして未来はつukれない。

今こそ

# 西岡 真一郎

## 市民力 結集!

【西岡真一郎事務所】 小金井市本町 5-15-9-105 TEL: 042-316-5587 FAX: 042-316-5589 MAIL: DZG01370@nifty.com



なぜ、  
市役所?  
?

小金井の3大問題がごみ処理場、駅前再開発、そして市役所の庁舎、場所の問題です。ごみ問題と南口再開発については、西岡真一郎も努力し進展しましたが、なぜ市役所問題の決着なのか、説明します。



**新市役所建設費 67億円-23億円-5億円-8億円=実質31億円**



リース庁舎の家賃等2億3千万円/年で割れば **13年で返済**

6施設の改修&維持管理費⇒1施設へ集約=コスト削減&新財源

市民サービスへ

### 西岡真一郎プロフィール

- ◆1969年生れ。46歳。◆小金井南小、小金井第二中、都立清瀬高校、獨協大学経済学部卒業。◆自民党本部事務局、新党さきがけ事務局勤務後、米国政府インターナショナル・ビジター・プログラムへ単身訪米。
- ◆小金井市議会に最年少議員として初当選（無所属・2期8年）、2005年に東京都議会議員に当選（民主党・2期8年）。2013年に惜敗しパピーナ本天沼保育園事務長。◆議員時代には行財政改革、小金井桜の保全や花粉症対策、トライアスロン普及や障がい者や高齢者に暮らしやすいまちづくりを進める。小金井のごみ問題、駅前再開発問題解決に奮闘。◆趣味：世界遺産熊野古道巡り、家庭菜園、サイクリング、こだわりのビーフシチューづくり。◆特技：いつでも阿波ダンサーになれること。

### 市役所は耐震に問題

平成4年に蛇の目ミシン跡地を約120億円で購入したのに新庁舎を建設せずに家賃がかかるリース庁舎（第二庁舎）を使い続け、突如としてリース庁舎を購入する案を示し、すぐさま撤回するなど迷走が今も続いています。

一方で市役所本庁舎（昭和40年築）は耐震強度不足の箇所があり、大震災時に市民を守れません。早急に新しい庁舎が必要です。

### 市財政問題解決策

土地があるのに新庁舎が作れない理由は、公共施設の建替え、改修、維持管理

費などの財政問題とされています。ですが、6施設を集約すれば各施設の改修費、維持管理費が削減され、新たな財源が生まれ、新たな市民サービスも可能です。財政問題解決策のひとつになります（他にもあります。ホームページ参照）。

福祉会館と老朽化した図書館を併設した新庁舎の建設費を試算したところ約67億円となりますが、6つの施設を売却すると仮定すると約23億円、リース庁舎の保証金7億円のうち、元に戻す費用2億円を除いた5億円、庁舎建設基金8億円が収入となり実質31億円となります。現在のリース庁舎の家賃等、年約2億3千万円を使えば13年前後で返済可能です。市民への新たな負担はなく、財政問題と切り離してできるので

す。庁舎跡地は、民間活力を導入した商業と住居用地として活用し、高齢者や子どもの施設を併すれば、市民の皆さんの不安解消やまちの活性化につながります。

### 市民と決める

ただし、どのような庁舎にするかは、他のケースも想定し市民と一緒に考え決着します。

小金井市の問題は、ビジョンが示せず迷走し、その場しのぎだったことにあります。具体策を元に、今こそ、市民力結集で、迷わずに、まっすぐに、未来へ進みましょう。市役所問題解決なくして未来はつukれません。



※建設単価を坪120万で想定。必要床面積18,437.41㎡×0.3025×120万で算出。売却費は本庁舎、西庁舎、暫定庁舎などの敷地面積×路線化/0.8で算出